



The rest of life
For adult Only... 18



やあ、
長旅であつたが
ここがドワーフの
村だな



人を探せる
場所というのは、
どこにありますか



あの…
そこのお方



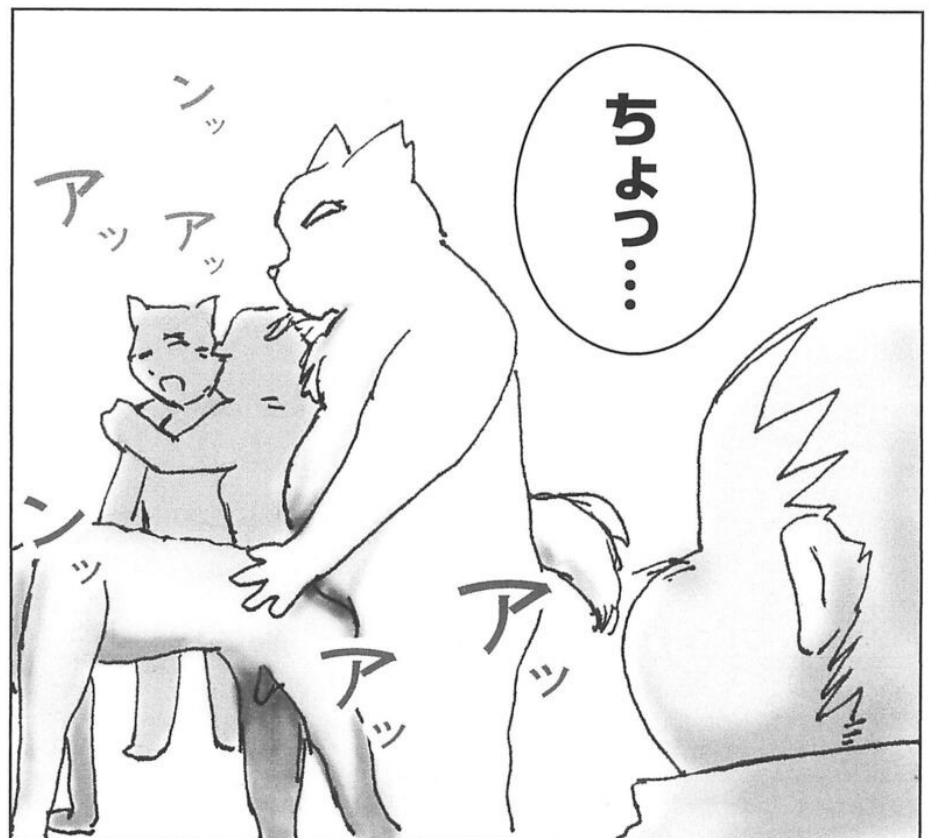
あの建物が
そうかな



旅の方は、
崖の下にある
宿を利用される
ことが多い
みたいです



崖の下…。
どうも、
ありがとう







それじゃ…
方法はない
のでしょうか

まあ…
ないことも
ない…ですが

方法と
いっても

我々の

死活問題
ですから

他の種族に
分け与えられる
こと自体が、
まず、ないので

ましてや
クリスタル
となると

**異種間では
結婚…
ぐらいです
かな…**

我々は雄しか
いませんから…
さきほどの
貴方のように

男同士の行為に
抵抗があるよう
だと、方法は
ないのと同じ…

ん…、
さっきのは
別に光景に
驚いただけで

男同士への
抵抗は…。
案外…、
ないですよ

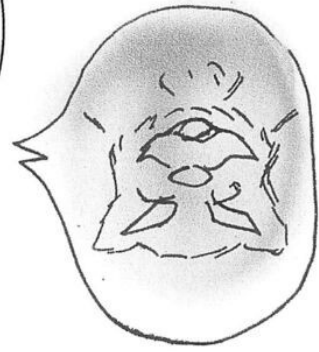
言葉ではどうとでも
言えますよ学者先生。
それとも、ためして
みますかな…

あのっ…
ちよっと
まっ…

ゴトッ

外の世界の
人間は、
とりわけ

理性だけで
語るばかりで



そのくせ、
虚勢だけは
いっちょまえ……！

試しもしないで
銜学に囚われてる
囚人のようですぞ

もっと
身を任せて

ド
キッ

純粹に
肌を合わせて

彼の話は唐突なよう
でいて、しかし、そ
の熱意からすると
まっすぐなひとめ惚
れのようなから。
なぜだか、すんなり
と身を預けてみよう
と思った。

ドワーフと人間の違
いを引き合いにした
のも、ようは私を抱
くために、ついてで
た言葉だろう…

私としても、歳からいって、
この村は最後だから。
ここに残って余生をすごす
つもりだった。

仕事探しだけでなく、死ぬ間際のパー
トナー探しも大事なことから。
それに、結局、私の本心は、雄に抱か
れたがっていたからこそ、廊下で声を
かけられてもあっさりついてきてし
まったのだ。ドワーフがどういった種
族かわかっていたのだから…。

ドワーフさんの
大きいですねえ

ぶちゅっ



そこは…

ほら…
とりあえず、採掘は忘れて
お互いの出会いを…

クリ
クリ



楽しんで

あ…

あ…あ…

ビ
ー
タ

ああ…
上手ですよ

うっ…うぐ…
ぐえっ…げほっ

ヌチ

あわてないで
ゆっくりで
いいですよ

チュバ

雄だから
気持ちいい
部分が
一緒なんだ…

触り方が
すごく
やさしくて
暖かい



そろそろ…
出ますぞ…
うぐ…雄同士は
いいじゃろ…!

ああ…っ
溢れてくるっ

ぴゅ
るゅ
っ

私も…
あっ…

グオッ
イ…クッ…

ビュッ

ケツがよく
締まるっ



どうじゃった？
気持ちよかった
かの？
満足したかの？

わし、なかなか
うまいじゃろ？

けっこう、
うっさいのう



いっそ、
結婚するのは
わしでは
ダメかの…？



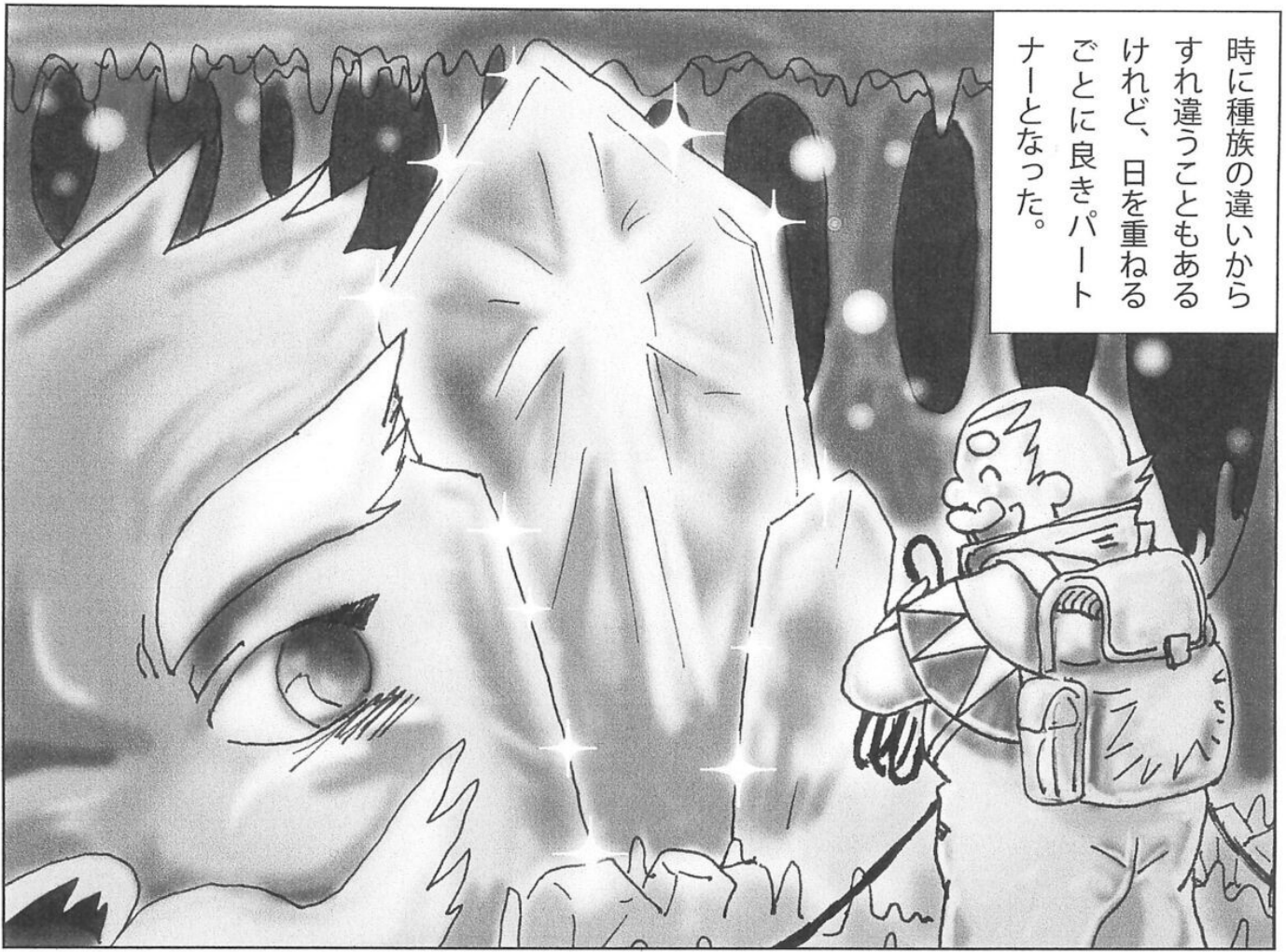
お主のこと
随分と
気に入った

わし、
会ったばかり
なのに…

そつと手をにぎりか
えして、私は「大丈
夫だよ」と、言う代
わりに手を握って
やった。

こんな唐突で短絡な
出会いで始まったの
に、それからずつと、
20年も連れ添うこと
になるとは…。

時に種族の違いから
すれ違うこともある
けれど、日を重ねる
ごとに良きパート
ナーとなった。



これ、ウメーンだけど



ビクッ



それからの私が尽きるまでの
20年ほどは、毎日が採掘
と、良きパートナーとの生
活を繰り返す、穏やかな
日々であった。
ドワーフ族は、300年も
生き、彼は出会った時点で
250歳を過ぎたばかり
で、私が先に行って、天国
で待っていることになっ
たが、怖れはなかった。
この20年の思い出が、消え
はしないとわかってい
るから、出会えたことの幸
せを、ただ感謝して…。

完

↑ドワーフの死活問題

ラブ 段階



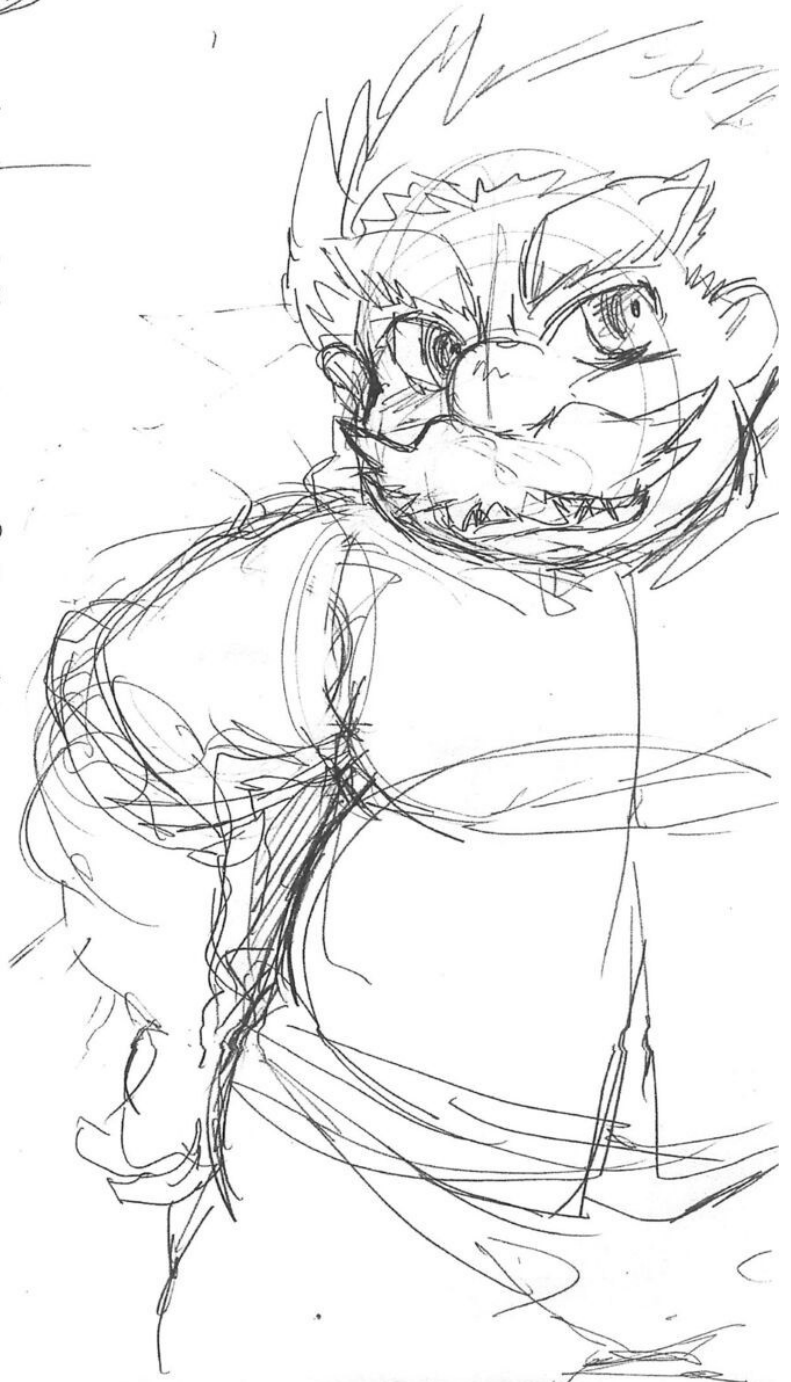
8Pでページを描いていたときには、人間のドワーフという設定でしたが、最終的には、ケモノになりました。

ドワーフは、男しかない種族で、森の奥にある大樹に願いをかけることで、子を持つことができます。

そのため、大地の木や石などを直接エネルギーとして取り込むことができます。

ですが、普通の石ではエネルギーは入っておらず、今回の村のように、特有のエネルギーを持った鉱石＝クリスタルを食べることで、体の筋力などをあげています。

普通の食料ではないので、むやみに採取はせず、他の種族に渡すことは種族の破滅を引き起こすと考えられています。



お買い上げいただき、 まことにありがとうございます。

今回は、余裕をもって…なんていってる間に、あっとい間にコミケ前日になってしまいました（^^；

というわけでお久しぶりです。前回自分のサークルで出してから、もう6年も経ってしまいました…。

もともとは8Pマンガとして出す予定だったものを、大人の事情により、急遽自分のサークルで出すことになりまして。

何回も、暗い話になったりギャグになったりを繰り返し、最終的には割と毒にも薬にもならない内容に落ち着きましたw ページは本編が15Pというボリュームで出すことができよかった。

まだまだ時間があれば、直したいところが山ほどあるのですが、昔と違って、時間がないことを嫌というほど感じました。

次にいつ出せるかわからないので、今回なんとしても出したいということもあり、いろいろとページが足りないところも多いですが、この本の続きとかは描かないと思いますので、サイトなどで、多少はもう少し絵を描くか、細かい設定載せるかしたいですね。

出来は荒いですが、楽しんでいただけたら、徹夜の日々も報われます。

最後に、この本の制作にあたり、無烏さんにはかなりの労力を割いてサポートしていただきました。また、委託をさせていただいたひげぬさん、雑用から進行、製本まで手伝っていただきました晶くんには、頭が下がります…。ありがとう。

そして、今年一年、みなさんお疲れ様でした！ 来年もすべての人にとって、よいお年であるように！（^^）

2009 12 30 狗噛み

E-mai contact_for_moegi@yahoo.co.jp

URL <http://inukamiinukami.hp.infoseek.co.jp/>

Clover 